



現和の子

やさしく・かしこく・たくましく

令和5年度学校だより
西之表市立現和小学校
令和6年3月25日発行



たしかなこと

校長 横山 政文

野山の春花が咲き、陽気に誘われた動物たちがあちこちで動き回っています。種子島の短い春真っ盛りといったところでしょうか。令和5年度も、皆様のおかげで全ての教育活動を終える運びとなりました。職員を代表して心から感謝申し上げます。

この一年間、子供たちは、それぞれ自分のめあてに向かって、友達とともに学校生活を送ってきました。時には、壁にぶつかって悩みながらも、その子なりに大きな成長が見られたことを実感しています。5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な活動等が戻ってきた今年度は、校庭で、教室で、子供たちの笑い声や歓声が響くようになりました。特に、本校では、あいさつに一言添えて対話したり授業で発表する時間を確保したりと、あらゆる場面で自分や友達の考えを言葉で伝え合うようにしてきました。学習の中で定着するにはまだまだですが、これからも、時間をかけて取り組んでいくことにしています。「伝え合う」といっても、決して上手でなくてもよいのです。子供一人一人が自分なりの言葉で心を込めて相手に伝え、自分が話すのと同様に相手の話す内容もしっかりと聴き取るようにする。これから、人が人として社会生活を営む上で大切な力になると信じています。

本校の卒業生である大相撲の島津海関は、帰郷の際、学校や学年レクリエーション等に顔を出してくれる心優しい先輩です。度重なる怪我や苦労、厳しい稽古を乗り越え、十両勝ち越しを決めて、今回、初入幕を果たしました。現在開かれている春場所では、怪我のため休場を余儀なくされていますが、この試練を次なる力にして、きっと復活してくれることでしょう。その島津海が、常々口にして言っている言葉があります。「自分は、種子島の大自然で育ち、種子島の温かい人々に支えられて今がある。だから、種子島出身であることを誇りに思い、種子島の素晴らしさを発信していきたい。」と。地元を大切に思い、自分の姿で伝え続ける勇気と責任に、島津海の人柄と覚悟を感じます。

子供たちが生き抜くこれからの社会は、デジタル情報化が益々進み、だからこそ、学校でも家庭でも地域でも「語り合う中での関係性づくり」が不可欠となります。自分が言うべきこと、自分が発信する内容を自分なりの言葉で相手に伝え、同時に相手の話す内容もしっかり聴き取るたしかな力が重要になっていきます。本校では、今後も、自分の考えをもって、自ら行動できる子供を育てていきたいと考えています。

本年度も、保護者や地域の多大なる御支援と御協力が、本校にとって大きな支えとなりました。ありがとうございました。令和6年度もよろしく願いいたします

4月行事予定



新しい仲間、自分
との出会い！
楽しみです。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 8日(月) 入学式 新任式 始業式
春の交通安全運動 | 18日(木) 全国学力・学習状況調査 |
| 10日(水) 知能検査 | 19日(金) 学級PTA PTA専門部会
PTA総会 |
| 11日(木) NRT学力検査(～12日) | 親子読書週間(～25日) |
| 12日(金) 交通安全教室 | 26日(金) 1年生を迎える会 |
| 15日(月) いじめ問題を考える週間(～19日) | |
| 16日(火) 家庭訪問(～18日) | |



第131回卒業証書授与式

22日(金)は天気に見守られる中、無事に卒業式が終了しました。全校児童が出席できる本校の卒業式は、主役である6年生はもちろんですが、1～5年生にとっても多くの学びや気づきがあります。児童一人一人が心を震わせ、互いを大切に思い合う特別な式です。この日の感激や感動が子供たちのこれからを支えていくのだと思います。多くの地域の皆様にも祝っていただき、ありがとうございました。おかげさまで、また一つ現和の伝統が築かれました。



生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに 胸をよぎ
る愛しい 人々の温かさ この星の片隅で巡り会えた奇跡は
どんな宝石よりも 大切な宝物

生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと
笑ったこと そのすべてに ありがとう
この命にありがとう

式中、全員で歌った
竹内まりや「いのちの歌」より